

# 北海道の 海岸漂着物 をしらべてみよう！



## 海洋プラスチックごみって何が問題なの？

海岸にはたくさんのプラスチックごみが漂着していました。軽くて便利なプラスチックは、使い捨てのものが多く、大量のごみを生み出します。このまま何の対策もしないと2050年には海にいる魚より、海洋プラスチックごみの重量の方が重くなるとも言われています。

プラスチックは自然の中で分解しづらく、海の生き物たちが誤って食べてしまったり、漁網や釣り糸が絡まることで、傷ついたり、命を落としています。



## マイクロプラスチックって何？

私たちが歩いていた海岸の砂をビンに入れ、水を注いで振ってみると.....カラフルで小さなプラスチック片が現れました。



海を漂うプラスチックごみは、波の力や紫外線によって、次第に小さく砕けていきます。こうしたプラスチックの破片のうち5mm以下のものは、マイクロプラスチックと呼ばれています。

マイクロプラスチックの状態になると、回収するのが難しく、魚などがえさと間違えて食べてしまい、食物連鎖を通じて人間を含めさまざまな動物の体内に蓄積されてしまいます。人体への影響も懸念されており、私たち一人ひとりの身近な問題として考えていく必要があります。

## 私たちにできることは？

私たちが暮らす札幌市は海には面しておらず、普段の生活の中で海について思いを巡らせる機会は多くないかもしれません。しかし、プラスチックごみによる海洋汚染は私たちのすぐ身近で起きていることです。美しい海、豊かな自然環境を守るために、私たちに今できることから始めましょう。

- ☑マイバッグやマイボトルを持ち歩こう！
- ☑3R（リデュース・リユース・リサイクル）でごみの減量に取り組もう！
- ☑身近な地域の清掃活動に参加してみよう！

美しい海を守るため、  
ボクたちにできることから  
始めよう！



動画 親子で環境満喫バーチャルツアー  
北海道の海岸漂着物をしらべてみよう！

今回レポートした古潭海岸での活動の様子を動画で見ることができます。

動画の視聴はこちらから▶



## 西区環境まちづくり協議会

西区環境まちづくり協議会は札幌市西区の区民協議会です。区民一人一人が環境に配慮したまちづくりを進めていこうと、平成16年5月に西区内の町内会、学校、企業、NPO法人などが中心となり、「地球に優しいまちづくりを進める西区民会議」として設立され、設立10周年となる平成26年に「西区環境まちづくり協議会」と名称を変更しました。地域の魅力を生かしたさまざまな環境活動や環境教育に取り組んでいます。